

需 要 先	*****管理組合 御中
題 目	*****大規模修繕工事 外壁付着試験結果報告書

平成 年 月 日

神 東 塗 料 株 式 会 社

西日本営業部 大阪営業所

***** 外壁付着試験結果報告書

拝啓、益々ご清栄の段、お喜び申し上げます
今般、大規模修繕工事における外壁面の付着力強度試験を行いましたので下記にご報告させていただきます。ご査収下さいますようお願い申し上げます。

敬具

—記—

1. 付着試験 平成 年 月 日 (*)
月 日 (*)

2. 試験担当者 神東塗料株式会社 **、**、**

3. 塗装内容
外壁面

主材 シントーダンエポ ウールローラー
(多重架橋形水系エポキシ下地材)

中塗 ハイテン中塗
(アクリルシリコン樹脂塗料用中塗)

上塗 ハイテントップ
(超耐候性アクリルシリコン樹脂塗料)

塗膜付着力試験

1) 試験目的

引張試験を行うことにより現在の塗膜の付着力と下地の強度を推定します。
現状の塗膜の密着を確認することを目的として「塗膜付着力試験」を実施します。

2) 試験方法

- ① 試験面に4×4cmの鋼製アタッチメントをエポキシ接着剤にて取り付けます。
- ② 接着剤効果後（約2時間後）油圧式引張試験機を用いてアタッチメントを引張り、試験面の強度を測定する。
- ③ 試験面を面積で除し、1 m²当たりの付着強度を測定する。

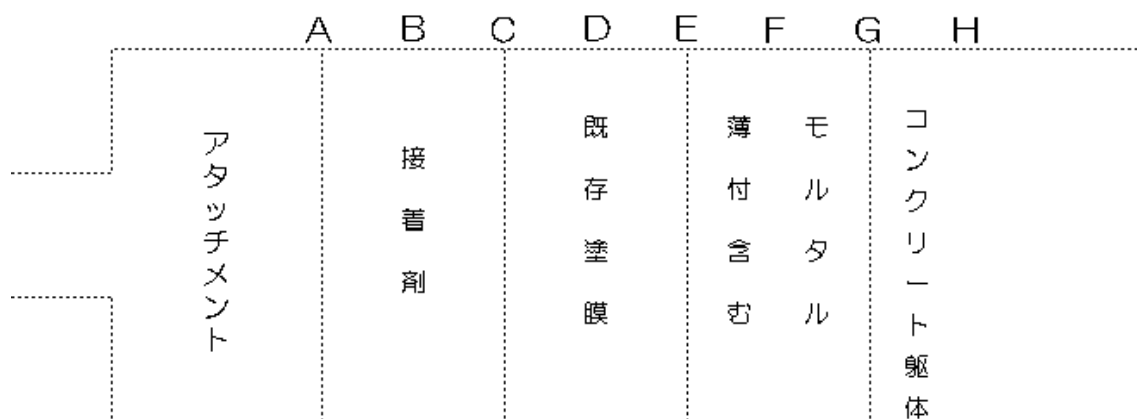
3) 測定機器

- ① 引張試験機：建研式接着力試験機
- ② 接着剤：2液型エポキシ系樹脂速乾型接着剤
- ③ 試験工具：鋼製アタッチメント

4) 判断基準

測定箇所にて0.5 N/m²以上の数値が得られれば、塗膜の付着性は良好と判断されます。

付着力試験結果



No.	試験箇所	付着強度 N/mm ²	破断位置 (%)							
			A	B	C	D	E	F	G	H
①	416 号室手摺壁 西面	1.04					50			
②	614 号室手摺壁 西面	2.04					90		10	
③	507 号室手摺壁 南面	0.94					20		80	
④	107 号室前共用廊下壁	1.68					60	40		
⑤	307 号室前共用廊下壁	1.14					100			
⑥	707 号室前共用廊下壁	0.81							100	

考察

今回現状塗膜がスタッコ (JIS A 6909 外装厚塗材 E 相当) のため、一般的付着力強度としては 0.5N/mm² (0.8kN/16cm²) 以上が必要とされております。

換算計算式 (測定数値 ÷ 1.6 = N/mm²)

塗膜付着力強度試験の結果、調査箇所では JIS の規定を上回っています。塗膜の密着力は良好と判断します。

塗膜付着力強度測定試験の状況



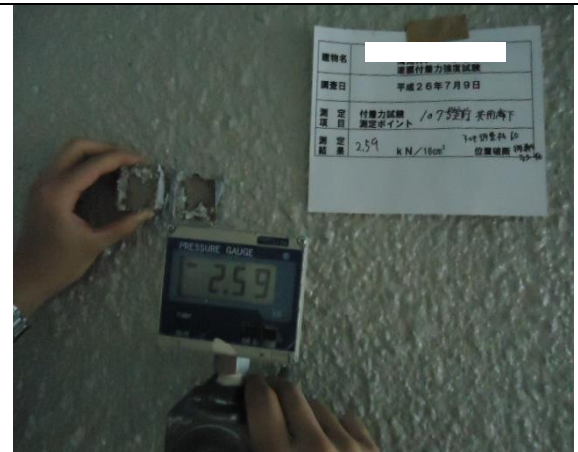
416号室手摺壁西面
 数値：1.04N/mm² (1.67kN/16cm²)



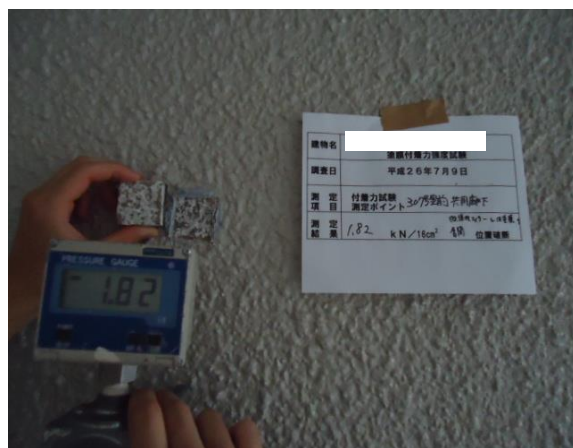
614号室手摺壁西面
 数値：2.04N/mm² (3.26kN/16cm²)



507号室手摺壁南面
 数値：0.94N/mm² (1.50kN/16cm²)



107号室共用廊下壁
 数値：1.68N/mm² (2.59kN/16cm²)



307号室共用廊下壁
 数値：1.14N/mm² (1.82kN/16cm²)



707号室共用廊下壁
 数値：0.81N/mm² (1.30kN/16cm²)